

公募設置等計画（概要）

1 整備運営事業の全体方針

わたしたちがP-PFIと指定管理を通じて目指す公園の未来

多様な価値観を迎え入れながら、共有して学び、成長を重ねていく公園。

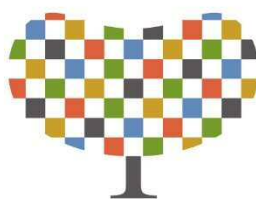
誰にとっても心地よい、やさしく包み込むような場所へ。

それはダイバーシティの理念を出発点として、

多様な価値観を迎え入れながら、共有して学び、成長を重ねていく公園。

いつまでもずっと「誰もがふらりと立ち寄れる引力のある公園」へと進化し続けていきます。

まあ、お寄りくださいませ。



きっさこ鶴舞

KISSAKO TSURUMA

分け隔てのない姿を伝える、禅語の「喫茶去(きっさこ)」。

いつでも、どこでも、誰に対しても「まあ、お茶でも一服召し上がれ」と迎え入れることを意味します。

「きっさこ鶴舞」は、なにか目的をもたなくても、気兼ねなく立ち寄れる場所。

ほんの束の間でも心地よく過ごせる「いい時」、すべての人とふれ合える「いい場所」、

人と人との間に壁をつくらない「いい心」の、「時・場所・心」が、きっさこ鶴舞のまっすぐな姿勢です。

すべての人を引きつけ、鶴舞公園がこれまで育んだ歴史・文化を継承しながら再生する「きっさこ鶴舞」。

敷居も境目もない、誰にとってもほっと一息つく毎日が、いよいよ始まります。

きっさこ鶴舞の考える「すべての人」は、多種多様なダイバーシティの「個人差」も考慮することで、よりパーソナルな“安全・安心”、“使いやすさ”を尊重。さらに“心地よさ”の視点を加えたユニバーサルデザインへ取り組んでいます。車椅子の方、子ども連れの親子、学校の友達、ご近所仲間、すべての人の個性と価値感を受け入れる器となるのが「きっさこ鶴舞」です。

ロゴマークコンセプト

多様な価値観を迎え入れ、それをみんなで育てていく場所という意味をこめて、繁栄の願いをこめた市松模様で構成された彩り豊かな木をシンボルに。和のカラーリングや伝統文様により、歴史を重んじる鶴舞公園らしさを表現しました。

「あっ、公園っていいね！」を再確認して貰うために。

鶴舞公園を【いま利用している人】【これから利用する人】【市民活動をされる人】に「あっ、公園っていいね！」を再確認してもらうために、6つの約束を実現します。

動

賑やか

会話を楽しみながらお茶や食事をしたり、にぎやかな空間を提供します。

静

ゆるり

鳥のさえずりや自然の音を聴きながら、静かに流れるゆっくりとした時間を提供します。

絆

つながり

初対面や、ご近所同士、気のおけない仲間と、垣根のない関係を提供します。

学

まなび

憩いの場だけに留まることなく、学ぶ楽しさを知る場として提供します。

歴

歴史・文化

歴史文化が培った品格を尊重し、多様性を大切にして未来へ継承します。

進

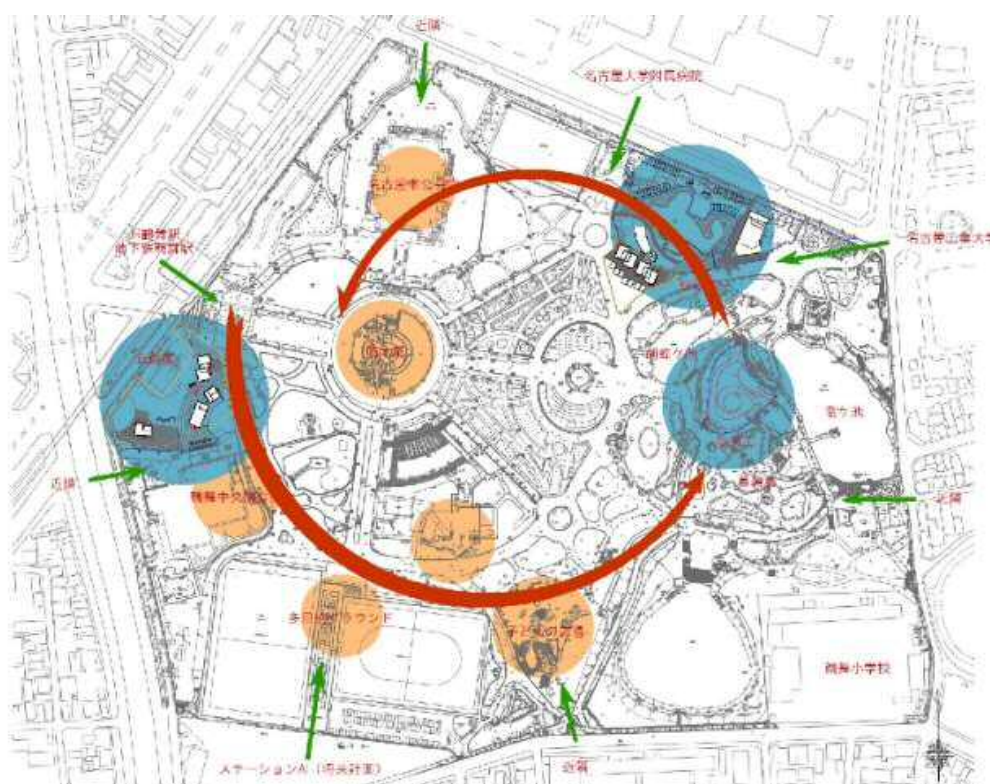
進化

鶴舞公園の特性や資質を活かした再生を行い、鶴舞公園に新しい価値を提供します。

2 整備運営事業の実施体制と全体計画

代表法人・統括責任者	矢作地所株式会社
整備・管理運営	矢作地所株式会社、株式会社電通名鉄コミュニケーションズ ヤハギ緑化株式会社
指定管理	株式会社日比谷花壇、ホームックス株式会社名古屋支店
魅力向上	株式会社電通名鉄コミュニケーションズ

正面南、秋の池、熊沢山の3つのエリアの整備と、公園全体での魅力向上の取組みで、公園利用者へ訪れるきっかけとなる「誘因」を創出し、目的をちりばめ「回遊」を誘い、集い、寛げるスペースで「滞留」を促し、常に人がいる「楽しく」、「安全」で、「明るい」公園づくりを目指します。



3 設置等施設の整備計画

(1) 基本方針

鶴舞公園の歴史、文化、自然が織りなす景観を尊重し、樹木を活かし伐採する樹木を慎重に選定して森の中に佇むように建物を配置します。傾斜屋根など景観と調和したデザイン、持続可能性の高い木造軸組パネル工法などを採用します。

(2) エリア毎の整備イメージ

正面南エリア 様々な人々が集い、交流できる賑わいの拠点となるメインエントランス



正面広場側から整備エリアを眺めたイメージ図



鶴舞中央図書館側から整備エリアを眺めたイメージ図

鶴舞公園が育んだ樹木やかつてこのエリアにあった鯨ヶ池の名残りを活かし、カフェ、レストラン、インクルーシブ遊具、水遊び場、鶴舞中央図書館と行き来できる園路、自転車駐輪場、トイレなどを新たに整備し、豊かな交流と賑わいを創出し、いつまでも来園者を魅了します。

公募対象公園施設	カフェ、洋菓子店、レストラン、コンビニ、体験学習施設など
特定公園施設	園路、芝生広場、遊戯施設、テーブル、ベンチ、トイレ、自転車駐輪場など
利便増進施設	デジタルサイネージ案内板

秋の池エリア 秋の池に面する自然と芝生広場の解放感を感じられる空間



奏楽堂側から整備エリアを眺めたイメージ図

秋の池に面する落ち着いた佇まいと、芝生広場に面する解放感を活かし、テラス席がありゆったりと飲食できるカフェ、グロースラント、ユニバーサルデザインの休憩所やトイレなどを整備し、すべての人が憩える場所とします。	
公募対象公園施設	カフェ、レストラン、グロースラント、駐車場など
特定公園施設	園路、芝生広場、休憩所、授乳室、テーブル、ベンチ、トイレ、資材置き場、倉庫など

熊沢山エリア 小高い立地からの眺望が楽しめる新たな集客の拠点空間



熊沢山北側から整備エリアを眺めたイメージ図

新たな集客の拠点として竜ヶ池や菖蒲池、胡蝶ヶ池を眺められるカウンター席を整備し、イベント広場、四阿、ユニバーサルデザインのスロープなど整備し、市民交流の拠点とします。	
公募対象公園施設	四阿
特定公園施設	園路、芝生広場、ウッドデッキ、カウンターテーブル・ベンチなど

4 魅力向上の取組み

歴史的建造物等公園施設の保全修繕に売り上げの一部（年間約230万円程度）を還元します。

地域住民や周辺施設と連携しながら、新たに整備する施設と歴史ある施設を一体として鶴舞公園全体の魅力を高めます。

- ・施設全体のホームページやSNS、広報誌などによる広報活動
- ・無料公衆無線LANのサービスの提供
- ・施設の世界観に調和するデザインでのサインの刷新
- ・歴史・文化・自然を生かした春夏秋冬の季節ごとの催事の実施
- ・名木をはじめとした施設全体のライトアップの実施

※ イメージ図は今後の協議等により変更となる場合があります。

5 参考

公募対象公園施設の建築面積

エリア名	エリア面積	公募対象公園施設の建築面積
正面南	約 4,800 m ²	約 900 m ²
秋の池	約 7,900 m ²	約 800 m ²
熊沢山	約 2,200 m ²	約 200 m ²
合計	約 14,900 m ²	約 1,900 m ²